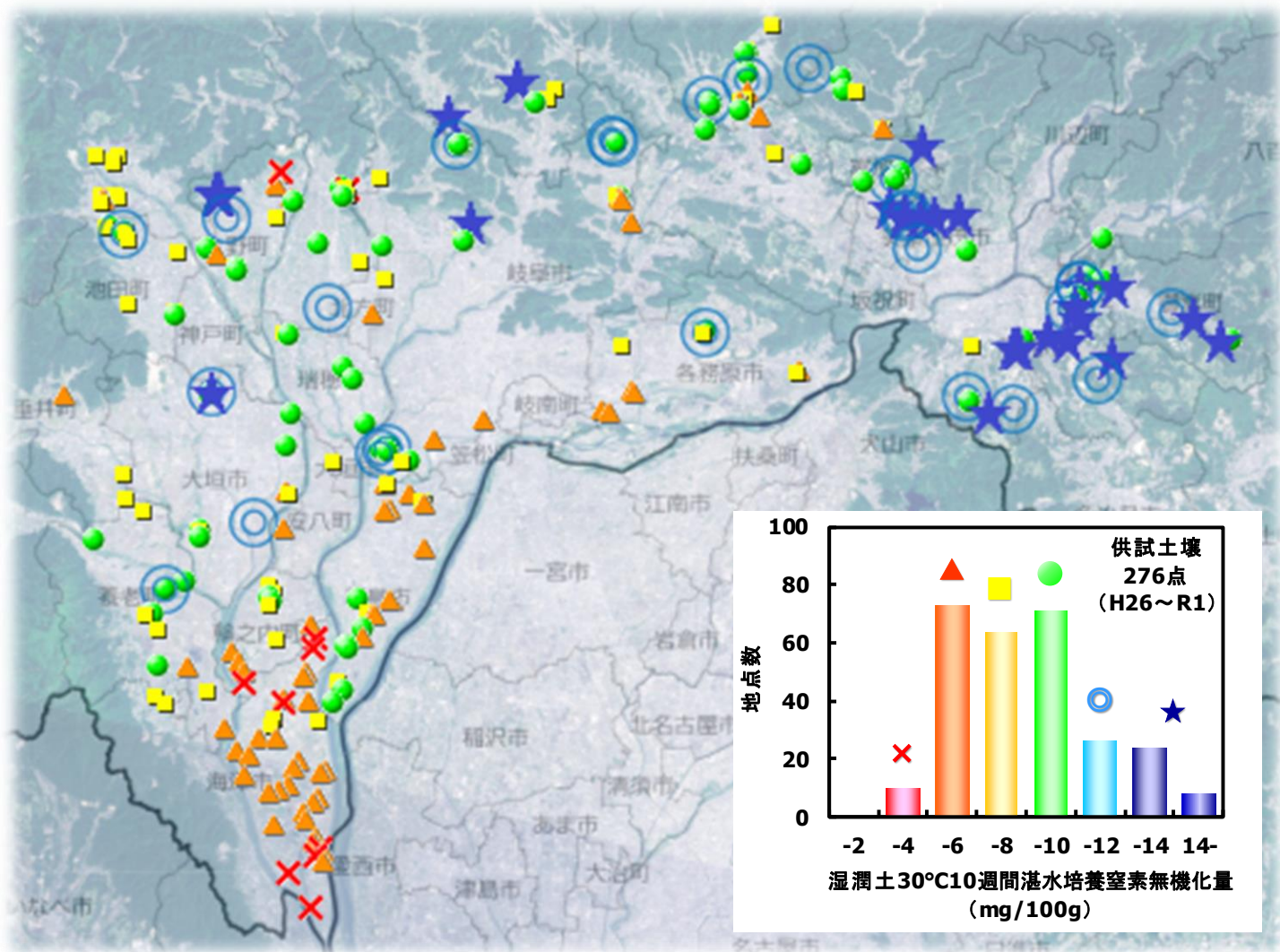


「ハツシモ岐阜SL」栽培地域の湿10wマップ

本県平坦部の主力品種「ハツシモ岐阜SL」栽培地域の水田土壌における、現時点での地力窒素の実態を明らかにしました。

ここで評価した地力窒素は、栽培期間中に土壌から供給される実際の窒素量に近い値を示す、湿潤土を用いた30℃10週間の培養試験による窒素無機化量（湿10w）です。



- ✓ 海津市を中心とした田畑輪換が繰り返されているほ場では、低い地点が多い
- ✓ 可茂地域では、他の地域に比べて極めて高い地点が多い

👁 地力窒素に応じた適正な施肥窒素の算出方法

【水稻連作】施肥N = $15.0 - 1.03 \times \text{湿10w}$

【田畑輪換】施肥N = $11.3 - 1.28 \times \text{湿10w}$
(大豆作跡) (kg/10a) (mg/100g)

(研究成果)

- ・ この湿10wマップを活用することで、地力窒素の地域的な傾向が把握できます。
- ・ 把握した湿10wを基に、適正な施肥窒素量が算出できます。施肥窒素を調整する際は、これまでの栽培ほ場での生育状況等を踏まえて行います。

- 本研究は農林水産省委託プロジェクト研究「収益力向上のための研究開発(H27～R1年度)」により実施しました。
- 本地図は国土地理院の地理院地図を用いて作成しました。

(岐阜県農業技術センター 土壌化学部)